

日中両語における動詞の自他の対応について

——存在文の場合——

北村よう

0. はじめに

中国語話者にとって日本語の自動詞と他動詞の区別は難しいと言われている。本稿では、存在文で使われる動詞について、自他の対応の面から日中両語を比較する。本稿で言う自他の対応には、ふたつの面がある。ひとつは、日本語と中国語で動詞の自他が対応しているかである。もうひとつは、それぞれの言語において、その動詞が対応する自動詞または他動詞を持つか、すなわち、使われている動詞が自動詞なら対応する他動詞を持つか、他動詞なら対応する自動詞を持つか、である。

本稿の目的は、日中両語の存在文における自動詞と他動詞の使用傾向を明らかにすることによって、学習者の負担を軽減することにある。また、日中の比較によって、動詞の自他の理論的研究に寄与することも目的のひとつである。

1. 問題の所在

初級の授業において、自動詞と他動詞の導入は、「自動詞＋テイル」と「他動詞＋テアル」の文型を教える際に行われることが多い。たとえば、『みんなの日本語初級Ⅱ』（スリーエーネットワーク）では、第29課でいわゆる結果の状態の「自動詞＋テイル」が、第30課で「他動詞＋テアル」が導入される。この「他動詞＋テアル」の導入・練習の際に、～テアルの前の動詞が他動詞であることがはっきりと示され、～テイルとの比較によって自他の違いも同時に教えることになる¹⁾。

この「他動詞＋テアル」の文型は、「壁に絵がかけてある」のように、場所の二格を伴うことが多く、また、場所が文頭に来て、次の形になる。

〔場所〕ニ〔存在主体〕ガ 動詞＋テアル

これは、ちょうど下のような中国語の存在文に対応する。

〔場所〕＋ V－着/了 ＋〔存在主体〕

ところが、上の文型のVには、中国語では1) 2) のように自動詞も他動詞も入る。

- 1) 床上躺着一个人。

ベッドに人が寝ている。

- 2) 桌子上放着一本书。

机の上に本が一冊置いてある。

1) の‘躺’は自動詞で、2) の‘放’は他動詞である²⁾。自動詞の場合も他動詞の場合も動詞の後に‘着’がついており、形の上では違いがない。また、

- 3) 墙上挂着一幅画。

かべに絵が かかっている／かけてある。

のように、中国語で他動詞‘挂’が使われる場合、‘挂着’に対応する日本語としては、自動詞を使った「かかっている」と他動詞を使った「かけてある」、さらには「かける」を受身形にした「かけられている」の可能性がある。しかし、中国語の‘挂’は他動詞であるから、直接対応しているのは他動詞「かける」を使った「かけてある」ということになる。

このように、中国語の存在文においては動詞が自動詞と他動詞の区別なく使われるため、日本語の動詞の自他を教えるのに存在文を使うのは、中国語話者にとっては大きな負担になることが予想される。

そこで、中国語話者の負担を減らすためには、どのような場合に日中で自動詞・他動詞の選択が共通していて、どのような場合にずれが生じるのかを明らかにする必要がある。

2. 存在文で使われる動詞の分類

まず、存在文全体を眺めてみる。中国語の存在文については、李2011や張／范2010などの分類がある。それらを参考にして、日本語の存在文を分類すると、以下のようになる³⁾。

- A. 配置動詞
- B. 作成動詞
- C. 姿勢動詞
- D. 位置変化動詞

A. B. が他動詞で、C. D. が自動詞である。2.1以下で、それぞれについて見ていこう。

2.1 配置動詞

ある場所にある物を配置する意味を表す動詞で、テアルをつけて配置されたあとの状態を表す⁴⁾。他動詞であるが、対応する自動詞があるもの⁵⁾とないもの⁶⁾とがある。

2.1.1 対応する自動詞のない他動詞

例を見てみよう⁷⁾。

○おく

- 4) 部屋の隅にはセンセイの鞆が置いてある。

房间的角落里放着老师的提包。『センセイ』

○かざる

5) 昨年出かけた新婚旅行の写真の横には、大学時代や、留学先での演奏会でのスナップが飾ってある。

结婚照旁，摆放着大学时代和在国外留学时演奏大提琴的照片，～。『おくりびと』
「おく」「かざる」には対応する自動詞がない。中国語の‘放’‘摆放’も同様である。

2.1.2 対応する自動詞のある他動詞

日本語の配置動詞には、対応する自動詞を持つものも少なくない。

○とめる

6) 二十メートルほど離れたところにスカイラインが止めてある。

在20米左右的地方停着一辆尼桑阳光，～。『予知夢』

○かくす

7) そこで彼女は迷わず、ベッドの下に手を入れた。

そこに猟銃が隠してあったからだ。

于是他沒有猶豫，把手伸到了床底下。床底下藏着一把猎枪。『予知夢』

6) の「とめる」は「とまる」、7) の「かくす」は「かくれる」という対応する自動詞を持っている。中国語の方も、6) の‘停’は

8) 闹钟停了。

目覚まし時計が止まった。(作例)

のように自動詞の用法を持つ。7) の‘藏’も自動詞として使われる。

9) 他藏在屋里不出来

彼は部屋の中に隠れて出てこない。『中日辞典』 (下線は筆者)

ただし、‘藏’が自動詞として使われるのは、主語が有生の場合のみである。また、日本語の方も、「かくれる」と「かくす」は、「かくれる」の主語と「かくす」の目的語の両方が有生の場合は対応があるものの、目的語が無生の場合は対応しているとはいいがたい。

7a) *ベッドの下に猟銃が隠れた。

7b) ?ベッドの下に猟銃が隠れている。

7c) ベッドの下に猟銃を隠した。

7d) ベッドの下に猟銃が隠してある。

cf. ベッドの下に恋人が隠れた。／ベッドの下に恋人を隠した。

以上は、制限はあるものの、日中両語でそれぞれ自他対応がある動詞であった。次に、日本語では自他の対応があるが、中国語は他動詞のみの場合を見てみよう。

○のせる

10) キャスターのついたワゴン式の小引き出しがひとつ。その上にコードレス電話機が載せてある。

以及一个有轮子的小抽屉柜，上面摆着无线电话。『火車』

○うえる

- 11) 公園には櫟と桜が交互に植えられていた。

公园里交错种植着榉树和樱花。『センセイ』

10) 11) の動詞は、それぞれ「のせる」―「のる」, 「うえる」―「うわる」という対応する自動詞があるが、中国語の‘摆’ ‘种植’ は、他動詞のみである。

まとめると、配置動詞は日本語でも中国語でも他動詞であり、日中ともに対応する自動詞を持つものと持たないものがあるということになる。

2.2 作成動詞

益岡 (2000) は、シテアル構文の第2のタイプとして、「動作の結果何かが存在するようになった状況を表すもの」をあげ、それにかかわる動詞を「作成動詞」と呼んでいる⁸⁾。例をあげよう。

○かく

- 12) 何かを感じて広げてみると、『電話ください。宗』と書いてある。

她想到什么，打开一看，上面写着“给我电话，宗”。『オーバー』

- 13) 草薙は椅子にかけたコートのポケットから、1枚のコピー用紙を取り出し、テーブルの上で広げた。そこには男の絵が描いてある。

草薙从搭在椅子上的大衣里取出一张复印纸，在桌上摊开，纸上画着一名男子。『容疑者』

○印刷する

- 14) 1通の茶封筒に，“BG 出版社ミステリー大賞結果通知在中”と印刷してある。

她看到了一个褐色信封，上面印着“BG 出版社侦探小说大奖结果通知”的字样。

日中ともに他動詞で、対応する自動詞を持たないものである⁹⁾。

2.3 姿勢動詞

「すわる」「たつ」などの人の姿勢を表す動詞である。主語は一般に有生物、特に人間であるが、無生でも有生性の比較的高いものはこのグループに入れる。

まず、有生物の例を挙げる。

○たつ

- 15) ドアが開き、誰かが立っていた。

门开了，门口站着一个人。『予知夢』

○ねる

- 16) 窓際に木製のベッドが置かれ、そこに十歳ぐらいの女の子が寝ていた。

窗边摆着一张木床，躺着一个10岁左右的女孩子。『予知夢』

いずれも自動詞である。「ねる」には、「ねせる」または「ねかせる」という他動詞がある。「たつ」には「たてる」という対応する他動詞があるが、目的語が有生の場合は「たてる」を使うことができず、自動詞の使役形「たたせる」を使う。このことは、「ならば」「ぶらさがる」についても当てはまる¹⁰⁾。中国語の‘站’ ‘躺’ には他動詞の用法はない。

このほかに、中国語には、無生物を主語とした自動詞文では使われないが、自然現象については使われる動詞がある。

○かかる

17) 空の高いところに、半月がかかっていた。朧月である。

高高的天空中悬挂着一弯半月，朦朦胧胧的。『センセイ』

18) 屋檐下挂着几条冰柱。

軒の下につららが何本かぶら下がっている。(筆者訳) 張／范2010

‘悬挂’‘挂’は、‘站’‘躺’などとは違って、無生物を目的語にとる他動詞の用法がある。頻度から言えば、他動詞の用法の方が一般的である。17) 18) のように、自然現象の場合は、自動詞としても使われるが、無生物が主語の自動詞の用法はないため、ここに入れた。2.1.2で‘藏’が有生物主語の自動詞の用法と無生物目的語の他動詞の用法を持つと述べたが、両者は連続的である。つまり、これらの動詞の場合、自動詞用法は有生性の高い主語と結びつき、他動詞では無生の目的語と結びつくわけである¹¹⁾。日本語では、「月」も「絵」も「かかる」を使うことができ、「人」も「つらら」も「タオル」も「ぶら下がる」を使うことができるのと対照的である¹²⁾。

2.4 位置変化動詞

他動詞である配置動詞に対応する自動詞である¹³⁾。以下は、中国語でも自動詞が使われている例である。

○さがる

19) 男性客は、耳に三つピアスをしていた。金色の小粒のが二つに、いちばん下に開いた穴にはぶらぶらと揺れる殊に光ったのが、下がっている。

那汉子耳朵上扎了三个耳环，两颗小小的是金色的，最下面的耳洞里，垂了一颗摇摇晃晃的玩意儿，格外闪闪发光。『センセイ』

○のこる

20) その顔にはまだ最後に挨拶した時の笑顔が残っていた。

他的脸上还留着最后告别时的笑容。『オーバー』

○おちる

21) ここへ引っ越してきたばかりのころ、赤ん坊の智を抱いて水元公園を散歩していて、道端に長い紐が落ちているのを見つけたことがある。

刚搬来这里时，有一天，本间抱着还是婴儿的小智到水元公园散步，看见路边掉了一条绳子。『火車』

日本語は「さがる」―「さげる」、 「のこる」―「のこす」、 「おちる」―「おとす」と自他対応を持っているが、対応する中国語‘垂’‘掉’は自動詞のみで、‘留’は自他両用である。

ここまで見てきたのは、日本語で自動詞が使われている場合は中国語でも自動詞、他動詞が使われている場合は中国語でも他動詞が使われている例であった。このような場合は、中国語話者にとって～テイルと～テアルの区別がしやすいと思われる。しかし、自動詞他動詞の使い

分けが日本語と中国語でずれるケースもある。次節では、日本語の位置変化動詞（自動詞）が中国語で自動詞以外に対応している場合について詳しく見ていく。

3. 位置変化動詞＋テイルに対応する中国語

配置動詞、作成動詞は日中両語で他動詞が使われ、姿勢動詞は日中両語で自動詞が使われる。位置変化動詞を使った存在文の場合は、2.4の19)～21)のように日本語の自動詞に対して中国語でも自動詞が使われることがあるが、そうでない場合も少なくない。他動詞を使った存在文や、存在文以外の文、さらには変化を表現せずに‘有’（ある）や‘是’（である）などが使われている場合などがある。

3.1 他動詞が使われている場合

まず、日本語の自動詞に対して、中国語では、その自動詞に対応する他動詞とほぼ同じ意味の動詞が使われている例をあげよう。

○たつ

22) ベッドの横にパイプハンガーが立っていた。少女がいったように、鉄棒のような形をしている。

床旁边立着一个钢管衣架，如少女所说的，衣架的形状有点像单杠。『予知夢』

日本語「たつ」は対応する他動詞「たてる」を持つが、中国語の翻訳ではその「たてる」に対応する‘立’が使われている。「たっている」よりむしろ、「たててある」に近いと言ってもいいかもしれない。以下では、簡略化して、

「たつ」→「たてる」‘立’

のように表記する。中国語の‘立’は自動詞では有生の主語のみを取る。2.1.2の‘藏’と同じタイプの動詞である。

○ならぶ

23) 本棚には、ファイルが何冊も並んでいた。

书架上摆放着几个文件夹，～。『予知夢』

「ならぶ」→「ならべる」‘摆放’

○はいる

24) 冷蔵庫にはビールの大瓶がどっさり入っていたし、未開封のウイスキーと日本酒が一本ずつ置いてあった。

冰箱里放着很多大瓶的啤酒，还有一瓶未开封的威士忌和一瓶日本酒。『予知夢』

「はいる」→「いれる」‘放’

25) 封筒にはいずれも便箋が1枚ずつ入っていた。

每个信封里都装着一张便笺，～。『容疑者』

「はいる」→「いれる」‘装’

○おちる

- 26) かがんでそれを拾おうとした時、なぜなは、地面に煙草の吸い殻がいくつも落ちているのに気がついた。

蹲下身子去捡时，她发现地上丢了很多烟蒂。『オーバー』

「おちる」→「おとす」→「すてる」‘丟’

○のる

- 27) 今朝の新聞を広げると、日曜版の一面には、『2000年への風景』の連載が載っていた。

翻开今天早上的报纸，发现周日版刊登了《迎向2000年的风景》的连载。『オーバー』

「のる」→「のせる」‘刊登’

- 28) 食卓には魚介類を中心にした料理が載っていた。

餐桌上摆着以海鲜为主的料理。『予知夢』

「のる」→「のせる」‘摆’

位置の変化ではなく、その状態にする動作を表す動詞を使って結果を表現することもある。

○でる

- 29) 二〇三号室には石神という表札が出ていた。

二〇三号挂着“石神”这个门牌。『容疑者』

「でる」→「だす」→「かける」‘挂’

- 30) 表札に山辺と出ている。白い壁の洋風住宅だった。

门牌上写着“山边”，是栋白墙的西式住宅。『容疑者』

「でる」→「だす」→「かく」‘写’

日本語「出る」は内から外への動きを表すが、その意味の中国語‘出’を使って29) 30) の「出ている」を表現することはできない¹⁴⁾。

○うつる

- 31) パツと開かれた見合い写真には、40歳くらいのちょっと太めで髪は薄めの男性が写っていた。

“啪”地一声打开地相亲照片上，赫然印着一个四十岁左右，稍胖，微秃的男人。『オーバー』

「うつる」→「うつす」→「プリントする」‘印’

日本語の自動詞に対応するものとして、存在文ではなく他動詞の受身が使われている例もある。

- 32) 彼女は1枚の写真を頼子に見せた。そこにはあの場所で車から降りた時の頼子の様子が、見事に写っていた。

她给赖子看了一张照片，赖子从那个地方下车时的情形被拍得一清二楚。『予知夢』

「うつる」→「うつされる」‘被拍’

受身ではなく、動作主を明示した他動表現が使われることもある。

- 33) 殆どの手紙は捨てたということだったが、一通だけ残っていたのが捜査陣にとっては幸いした。

几乎所有的信件都被礼美扔掉了，幸好她还留着一封，帮了搜查人员的大忙。『予知夢』

34) 「なんだ，フィルム入ってないのか」

“什么？你没装胶卷？”『オーバー』

33) 34) の日本語はそれぞれ「手紙が残っている」「フィルムが入っていない」という自動詞表現だが，中国語では，日本語の文にはない動作主‘她’や‘你’が現れ，「彼女が手紙を一通残した」「おまえがフィルムを入れていない」という表現になっている。

また，日本語の「うつる」に対して，中国語では「(人が) 見ることができる」に当たる動詞が使われている例もあった。

35) 「見ようによっては，なんかそれらしいものが写ってるかなー，というところかな」

“根据看照片的角度不同，有时能看到那样的东西——仅此而已。”『予知夢』

存在文における位置変化動詞と配置動詞の分布をまとめると，表1のようになる。

表1

日本語		中国語	
位置変化	自	位置変化	自
配置	他	配置	他

まん中のずれているところは，日本語で「ならぶ」「はいる」のような位置変化動詞（自動詞）を使って表現するところを，中国語では配置動詞（他動詞）‘擺放’‘放’などを使っていることを示している。

3.2 変化を表現しない場合

日本語の位置変化動詞を使った存在文の中には，実際には変化が起こっていなくても，変化の結果の状態として表現した例もある。36) と37) を比較されたい。

36) 「そうは見えなかったです。あ，何か，ついてる……」

夏樹は，久我の白衣の肩のところに払おうとした。

“但是看不出来。啊，沾到了什么东西……”夏树正要往久我白大褂的肩膀部位拍去，～。『オーバー』

37) ちょうど角部屋で，ドアが正面と右手，二箇所ついている。しかも曇りガラスだから，内部がぼんやりと見える。

事务所正好位于边上，正面和右边各有一扇门，都嵌着毛玻璃，可以隐约看见里面的动静。『火車』

36) は「白衣の肩に何かがつく」というできごとがあり，その結果何かが肩に残っているという意味の「ついて（い）る」であるが，37) のドアは，その部屋ができたときから存在し，最近新たにつけられたわけではない。36) の中国語では，「くつつく」という意味の動詞‘沾’

プラス方向を表す‘到’の組み合わせが使われ、37)では単に存在を表す‘有’が使われている。

同様に、「はいる」の場合も、だれかが入れた結果の場合と、初めから存在している場合がある。

- 38) = 25) 冷蔵庫にはビールの大瓶がどっさり入っていたし、未開封のウイスキーと日本酒が一本ずつ置いてあった。

冰箱里放着很多大瓶的啤酒，还有一瓶未开封的威士忌和一瓶日本酒。『予知夢』

- 39) 雨戸の内側には、ガラス戸が四枚入っている。

套窗内侧有四扇玻璃门，～。『予知夢』

38)では、「はいる」という意味の中国語‘放’が使われ、39)では37)と同様、‘有’が使われている。

‘有’（ある）のほかに、‘是’（～である）が使われることもある。例を見てみよう。

○つく

- 40) 彼は息を整え、頭の中を整理してから門の前に立った。そこにはプラスチック製のブザーがついていた。

他调整了一下呼吸，整理了大脑中的思绪，来到门前。门上有一个塑料门铃，～。『予知夢』

- 41) 入ってすぐのところが六畳の和室で、右側に小さな台所がついている。

左边是六叠大的和室，右边有个小厨房。『容疑者』

- 42) 古いサイン帳だった。チェック柄の固い表紙がついている。

这真是一本年代久远的纪念册，外表是花格子的硬质封皮。『予知夢』

○はいる

- 43) 「いや、写真が1枚入っていた」

“不，还有一张照片。”『容疑者』

○のこる

- 44) かすかな切り傷が、手首に2本残っている。

手腕上有两条不深的伤痕。『オーバー』

○うつる

- 45) そこには矢島貴子が写っている。

照片上是矢岛贵子。『予知夢』

- 46) 変な形の本があって、そのそばに白い煙みたいなのが写ってるんです。

上面有一棵形状比较奇怪的树，树旁边有白烟一样的东西。『予知夢』

○のる

- 47) 灰皿に吸いかけの煙草が一本載っていた。まだ1センチほどしか吸っていない。

烟灰缸里还有一支没吸完的烟，大概只燃了1厘米。『予知夢』

43)～47)のように、位置の変化がある場合や何かが新たに出現した場合でも、変化を特に表現せずに‘有’ですませるケースもある。‘有’や「ある」は存在を表す無標の表現である

北村よう

から、48)のように、日本語の配置動詞に対する訳語として使われる場合や、49)のように、日本語の「ある」が中国語では存在文で訳される場合もある。

48) 四畳半のほうは寝室として使われていたようで、小さな整理筆筒が置いてあるだけだ。

四张半大的那间被用作卧室，里面只有一个不大的衣柜。『予知夢』

49) 彼の前には坂木のノート，作文，手帳などがあった。

他面前摆着坂木的记事本，作文，笔记等物品，～。『予知夢』

しかし、日本語で実際には変化がなくても変化があったかのように表現する¹⁵⁾ところを、中国語では変化の結果としては表せないことがあるということは、指摘しておく必要があるだろう。

4. まとめと今後の課題

存在文で使われる動詞を配置動詞，作成動詞，姿勢動詞，位置変化動詞に分けて考察した。作成動詞は日中両語で他動詞，姿勢動詞は自動詞が使われる。配置動詞は他動詞，位置変化動詞は自動詞だが，日本語で位置変化動詞を使って表現するところを中国語では対応する配置動詞を使うことが多いこと，日本語には，変化がなくても位置変化動詞を使った表現があることがわかった。

中国語話者にテイル，テアルを使った存在文を教える際には，もともと中国語では存在文で自他の区別がないことに加え，上のような違いがあることに留意する必要がある。日本語の位置変化動詞と中国語の配置動詞が対応することは，日本語で自動詞表現が好まれることの反映であり，また，変化がなくても位置変化動詞を使うことは状態より変化に重点を置く日本語の特徴の現れであると言える。

中国語に目を転じると，配置動詞を使った存在文の範囲が日本語より広いことがわかる。このことから，逆に，存在文という構文が，欠けている自動詞を補う手段になっているとも言えるのではないか。ちょうど，英語で自動詞が欠けているときに受動態の動詞を使うのと同じ現象であると考えられる。

今後は，存在文で明らかになった日中の自他の対応の違い（日本語の自動詞が中国語で他動詞に対応すること，日本語では自他対応のある動詞が中国語では他動詞しかないこと）が，他の構文で日中両語のどのような違いとなって現れているかを明らかにしたい。そのためには，中国語の中での自他の対応についてさらに詳細に調べる必要があるだろう。

注

- 1) 『みんなの日本語初級Ⅱ本冊』（スリーエーネットワーク）では，対応する自動詞のない他動詞か，対応する自動詞があっても未出の他動詞が使われており，「開けてある」のような対応する自動詞を持つものは扱われていない。しかし，同じ課の～テオクの文型では「開ける」「つける」などの他動詞が使われ，直前の第29課では，「開いている」「ついている」などが導入済みで

あることから、学習者の方から「開いている」と「開けてある」はどう違うのかという質問が出ることも多いだろう。たとえ質問が出なくても授業でその違いを取り上げることは多いと思われる。

- 2) 本稿では、存在文という構文そのものが自動詞的表現であることと、存在文に使われる動詞の自他は、分けて考えている。しかし、存在文で使われること自体をその動詞が自動詞であることの根拠と見る考え方もある。たとえば、范 (1982) は、‘挂, 放, 拿……’ は他動詞と自動詞両方に分類されるとして、他動詞のときは動作を表し、自動詞の時は状態を表すと述べている (p. 83)。范 (1982) の考え方は、望月八十吉 (1983)、荒川 (1985) にも引用されている。また、山口2006も‘种’などを自他両用とし、菊島2009は‘放’‘贴’などを使役起動交替動詞としている。

日本語との対応で言えば、‘放’自体が「おいてある」または「おかれる」に相当するという考え方であるが、本稿では、自動詞的な用法が存在文や所在文（那本书放在桌子上など）に限られていることから、構文により自動詞的な意味が獲得されると考える。つまり、‘放’自体は「おく」に相当し、‘放着’の形で存在文に置かれて、「おいてある」に相当すると考えるのである。日本語でも「おいてある」全体は自動詞的表現となるが、中の動詞「おく」が他動詞であることには変わらない。

- 3) 「配置動詞」「作成動詞」「姿勢動詞」「変化動詞」は李 (2011) の分類で言うところ、それぞれ“挂”型、“绣”型、“坐”型、“垂”型に当たる。李 (2011) には、ほかに“长”型、“戴”型、“飘”型、その他、があるが、いずれも日本語では存在文としてはあまり使われないものである。
- 4) とりつけ動詞とも呼ばれる (工藤1995など)。
- 5) 早津 (1989) の「有対他動詞」に当たる。
- 6) 早津 (1989) の「無対他動詞」に当たる。
- 7) 以下にあげる例の多くは北村 (近刊) でも取り上げたものである。本稿であげた例以外については、北村 (近刊) を参照されたい。
- 8) 生産動詞 (工藤1995など)、創造動詞 (小野2005など) と呼ばれることもある。
- 9) ただし、すべての作成動詞が対応する自動詞を持たないわけではない。影山 (1996) は、「ご飯を炊いた → ご飯が炊けた」のような「自動詞化」の例をあげている。影山 (1996) の例はすべて存在文以外のものであるが、「靴下に穴をあける」—「靴下に穴があく」のように、存在文で対応するものがある場合もある。
- 10) 寺村 (1984) pp. 148-149参照。
- 11) 一般的に自他の対応で言えば、英語の break や日本語の「こわれる」—「こわす」のように、自動詞の主語と他動詞の目的語がともに無生である場合が多いが、‘藏’などでは、自動詞の主語と他動詞の主語がともに有生となる。
- 12) 中国語において、主語の有生性によってある動詞が使える場合と使えない場合が出てくることは、存在文だけではなく、移動動詞においても見られる。王 (2009) は、移動の自律性が高い主体の場合は経路移動動詞（‘出’‘上’など）が単独で使えるが、自律性が低い場合は単独では使えないことを指摘している (pp. 113-116)。

無生の主語の自動詞+テイルは、中国語では他動詞を使った存在文で表現することができる (3.1参照)。たとえば、次のような実例がある。

今、その窓辺には明るい色合いの花をつけた鉢植えが並べられ、クーラーの室外機の上にかけられた小物干しから、赤いソックスがぶらさがっていた。

如今那扇窗户边排列着颜色亮丽的花盆，空调上面地小型晒衣架则挂着红色的短袜。『火車』

- 13) 工藤 (1995) では、「とりつけ動詞に対応する自動詞」とされている (p. 75)。
- 14) 王 (2009) も、pp. 137-138で、「入り口に大きな看板が出ている。」は移動物の自律的な移動

ではないため、

*入口处出了很大的招牌。

とは訳せず、

入口处立着很大的招牌。(下線原文)

としなければならないと指摘している。

- 15) 国広 (1985) は、「客観的に見れば物の動きはあり得ないのに、あたかも動いたかのようにとらえ」た表現法を「痕跡の認知」と呼んでいる (p. 8)。

用例出典

『オーバー』北川悦吏子『オーバー・タイム』(角川書店) 李建云译《加时赛》(上海译文出版社)
『おくりびと』百瀬しのぶ『おくりびと』(小学館文庫) 彤彫译《入殓师》(东方出版社)
『火車』宮部みゆき『火車』(新潮文庫) 张秋明译《火车》(南海出版公司)
『センセイ』川上宏美『センセイの鞆』(文春文庫) 施小炜/张乐风译《老师的提包》
『容疑者』東野圭吾『容疑者の献身』(文春文庫) 刘子倩译《嫌疑人 X 的献身》(南海出版公司)
『予知夢』東野圭吾『予知夢』(文春文庫) 赵博译《预知梦》(海南出版社)
『中日辞典』(小学館)

参考文献

- 荒川清秀 (1985) 「着」と動詞の類」『中国語』306
安平鎬 (2000) 「結果相を表す表現と空間表現との共起関係——日韓対照を中心に——」青木三郎・竹沢幸一編『空間表現と文法』くろしお出版
王軼群 (2009) 『空間表現の日中対照研究』くろしお出版
小野尚之 (2005) 「第3章 自他交替構文」『生成語彙意味論』くろしお出版
影山太郎 (1996) 『動詞意味論——言語と認知の接点』くろしお出版
菊島和紀 (2009) 「存在文における「著」「了」の互換性と拡張事象構造」『中国語学会第59回全国大会予稿集』
北村よう (2011) 「【研究ノート】存在文の日中対照——テイル/テアル/ラレテイル文とそれに対応する中国語——」『東海大学紀要 国際教育センター』創刊号
北村よう (近刊) 「存在文の日中対照——動詞の自他を中心に——」関正昭先生ご退職記念論集編集委員会編『日本語教育学研究—その核心から周辺領域まで—』(仮題) スリーエーネットワーク
工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト——現代日本語の時間の表現——』ひつじ書房
国広哲弥 (1985) 「認知と言語表現」『言語研究』88
佐藤琢三 (2005) 「第9章 動詞の自他対応の意味構造」『自動詞文と他動詞文の意味論』笠間書院
杉本武 (2002) 「「ている」形の解釈と動作主性について」『文芸言語研究言語編』第42号
張麟声 (1991) 「中日様態存在表現の対照研究」『月刊言語』20-7
鄭汀 (2010) 「存在表現における中国語の「着」構文と日本語の「である」構文の対応について」神田外語大学編『Scientific Approaches to Language』9
寺村秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』くろしお出版
早津恵美子 (1989) 「有対他動詞と無対他動詞の違いについて——意味的な特徴を中心に——」『言語研究』95
益岡隆志 (2000) 「アスペクトをめぐる」『日本語文法の諸相』くろしお出版
望月八十吉 (1983) 「日本語から中国語を眺める——その2——」日本語と中国語対照研究会編

『日本語と中国語の対照研究』第8号

山口直人 (2006) 「非対格化と中国語の4つの言語現象——遊離数量詞, 受身, 結果複合動詞, “V着” 存在文」『語学教育研究論叢』23号 大東文化大学

范晓 (1991) 〈及物动词和不及物动词的区分及其再分类〉《中国语言学报》第四期

范晓 (2009) 《汉语句子的多角度研究》商务印书馆

李临定 (2011) 《现代汉语句型 (增订版)》商务印书馆

孟琮／郑怀德／孟庆海／蔡文兰 编 (1987) 《动词用法词典》上海辞书出版社

苗传红／陈小盟 主编《现代汉语动词例释》北京师范大学出版社

王轶群 (2010) 〈日汉路径移动动词的对比研究〉《日语学习与研究》2010.3

张先亮／范晓 (2010) 《现代汉语存在句研究》中国社会科学出版社

张斌主编 (2010) 《现代汉语描写语法》商务印书馆

郑汀／冯素梅 (2010) 《日语学习与研究》2010年第2期

Jackendoff, R. (1983) *Semantics and Cognition*. The M. I. T. Press.